比類なきスポーティセダン

Press Information

2014 年 7 月 11 日

メルセデス・ベンツ C クラスをフルモデルチェンジ

- **コンセプトは「アジリティ＆インテリジェンス」**
- **アルミニウムハイブリッドボディをはじめとする最先端技術が生み出すアジリティ**
- **快適性が安全性に寄与するという思想に基づくインテリジェントドライブ**
- **ミリ波レーダーセンサーとステレオカメラにより「部分自動運転」を実現**

メルセデス・ベンツ日本株式会社（社長：上野金太郎、本社: 東京都港区）は、7年ぶりにフルモデルチェンジを行ったメルセデス・ベンツ「Cクラス」を日本市場に導入し、本日より全国のメルセデス･ベンツ正規販売店ネットワークを通じ発売いたします。（「C 250 スポーツ」のお客様への納車は2014年秋頃を予定）

Cクラスは1982年に「190クラス」として登場以来、動力性能や快適性、安全性などあらゆる面において常にセグメントの指標とされ、世界で累計1,000万台以上販売したモデルです。日本での販売においても2011年および2012年に2年連続でセグメントナンバー1[*1]を達成し数々の賞を受賞するなど、多くのお客様に高い評価をいただいてまいりました。

*1 欧州委員会の分類概念に基づいた輸入車Dセグメント

新型Cクラスは「アジリティ＆インテリジェンス」のコンセプトに基づき、素材選びから設計、製造工程に至るまであらゆる部分にメルセデスが誇る最先端技術を投入することで、大きな進化を遂げて生まれ変わりました。

アジリティ

新型Cクラスは、ボディシェルのアルミニウム使用率を約50%と、量産車としては類を見ないレベルに高めながら、高張力鋼板などを適材適所に組み合わせた革新的な軽量高剛性アルミニウムハイブリッドボディを採用しました。それにより、先代比（ホワイトボディ）約70kgの軽量化を実現しています。この軽量高剛性ボディの採用により、重心高の低下によるスポーティかつ俊敏なハンドリング、NVH（騒音、振動、ハーシュネス）特性の最適化に加え、動力性能をまったく犠牲にすることなく燃費を最大30%以上向上[*2]するなど、数多くのメリットをもたらしています。

*2 JC08モードにおけるC 180 アバンギャルド同士の先代および新型比較

このアルミニウムハイブリッドボディの製造工程において、メルセデス･ベンツは自動車メーカーとして世界で初めて、量産車に「ImpAcT（インパクト）（Impulse Accelerated Tacking）」接合方式を採用しました。これは、アルミニウムとスチールのコンポーネントを重ね合わせ、そこに

高速でリベットを貫通させることで接合する技術です。ドアやボンネット、ルーフなど外板パネルの大半にアルミを採用することで、徹底した軽量化を実現しました。

メルセデス・ベンツはエアロダイナミクスの分野をリードしており、ほぼすべてのセグメントにおいて最高水準のCd値を達成しています。新型Cクラスも、ボディ細部にわたる徹底した空力最適化により、Cd値0.24というセグメント最高水準の空力特性を実現しました。空気抵抗を抑えることで、燃費効率を高めるとともに、風切り音を減少させます。

新型Cクラスの「アジリティ」に大きく貢献するのが、新開発の4リンク式フロントサスペンションです。4リンク式のメリットは、リンク機構とストラット式スプリングを独立させることで理想的なサスペンションの動きを実現できることにあります。キャンバー角の自由なセッティングが可能になることでコーナリング時のグリップが大幅に向上し、俊敏な走りを実現します。リアは、Cクラス伝統のマルチリンクサスペンションを進化させた5本のリンクによる独立懸架式とし、卓越した直進安定性を実現しています。

サスペンションには、次の3つのタイプを設定しています。

AGILITY CONTROL（アジリティ コントロール）サスペンション[*3]:

走行状況に応じてダンパー内のオイル流量を変化させ、減衰力を調整するセレクティブダンピングシステムを採用しました。通常走行時には快適な乗り心地を提供し、ハードな走行時には最大限の減衰力を発揮します。

*3 C 180、C 180 アバンギャルド、C 200アバンギャルドに搭載

スポーツサスペンション[*4]:

AGILITY CONTROLサスペンションをベースに、スプリングとダンパーをハードなセッティングとし、よりダイナミックなドライビングを実現しました。さらにステアリングレシオをよりダイレクトな設定としています。

*4 C180 アバンギャルド AMGライン装着車に搭載

AIRMATIC（エアマティック）サスペンション[*5]:

Cクラスとして初めて、またセグメントとしても初めて、エアサスペンションを設定しました。エアスプリングと連続可変ダンパーを電子制御することで、通常時から積載時まで変わることのない優れたロードノイズ特性、タイヤ振動特性を実現します。フロントアクスルのエアストラットとリアの独立したエアスプリングは、いずれもホイール支持機能を持たず、コーナリングフォースを受け止める必要もないことから、きわめて滑らかなストロークを実現しており、これまでラグジュアリークラスでしか得られなかった非常に快適な乗り心地を実現しています。

*5 C 250 スポーツ、C 200 アバンギャルドAMGライン装着車に搭載

新型 C クラスのドライビングモードの選択は、センターコンソール下部の「AGILITY SELECT（アジリティ セレクト）」スイッチにより行います。“Comfort“、“ECO“、“Sport“、“Sport+“の 4 つから選んだモードに応じて、アクセルレスポンス、トランスミッションのシフトポイント、ステアリング特性、サスペンション特性（AIRMATIC アジリティパッケージ装着車）などの様々なパラメーターを変化させます。さらに、“Individual“モードでは、それらをドライバーの好みで自由に設定してオリジナルのモードがカスタマイズできます。

新型Cクラスには、新開発の1.6リッター/2.0リッター直列4気筒BlueDIRECTターボエンジンを搭載しています。2.0リッターエンジンは、メルセデスが世界で初めて実用化した、成層燃焼リーンバーン、ターボチャージャー、EGR（排ガス再循環装置）の組み合わせにより、ゆとりある動力性能と高い環境性能を生み出します。いずれのエンジンも燃費効率に優れ、燃費を最大30％以上向上するとともに[*6]、C 180とC 200の全てのモデルでエコカー減税100％免税[*7]を達成しました。

*6 JC08モードにおけるC 180 アバンギャルド 同士の先代および新型比較。

*7 「C 180」「C 180 アバンギャルド」「C 200 アバンギャルド」は、「平成17年排出ガス基準75％低減レベル（☆☆☆☆）」を取得するとともに、「平成27年燃費基準+20％」を達成し、新エコカー減税（重量税、取得税 100%免税）および自動車グリーン税制優遇措置（翌年度自動車税50%減税）の優遇をうけることができます。なお、C 250 スポーツについては、2014年秋頃の型式認証取得予定のため、現時点では未定です。

インテリジェンス

すべての人に最高の安全性を提供することが、メルセデス・ベンツの目標です。その目標を達成するため、昨年発表した新型Sクラスに導入された最新鋭の技術の多くが新型Cクラスにも搭載されています。

「レーダーセーフティパッケージ」をはじめとする安全運転支援システムは、ドライバーの疲れを最小限に抑える快適性が安全なドライブに貢献するという思想に基づき、安全性と快適性を高次元で融合させたもので、メルセデス・ベンツではこれを「インテリジェントドライブ」と総称しています。

「インテリジェントドライブ」の土台となっているのが、クルマの周囲360°をカバーする複合的なセンサーシステムです。フロントウインドウ内側のステレオマルチパーパスカメラは、最大500mの範囲で大まかな様子をモニターするほか、2つのカメラで車両前方約50mの範囲を立体的に捉えます。レーダーセンサーは、フロントおよびリアバンパー側面に内蔵された25GHzの短距離レーダー、ラジエーターグリル奥の77GHzの中・長距離レーダー1個、リアバンパー中央の25GHzマルチモードレーダー1個の合計6個が搭載されています。

これらのカメラとレーダーから得られたデータをコントロールユニットで融合させ、安全運転支援システムに対応するデータを作成します。このデータを高度なアルゴリズムで解析することにより、先行車両、横切る車両、後方車両、対向車、歩行者などを検出し、その位置を特定します。これにより、状況を判断して、アクセル、ブレーキ、ステアリングを自動でアシストする、まさに「部分自動運転」を実現しました。メルセデス・ベンツの乗員のみならず、他の道路利用者をも含む包括的な保護を実現することが、その目標です。

「インテリジェントドライブ」に含まれる代表的な機能は、下記の通りです。

ディストロニック・プラス（ステアリングアシスト付）：

77GHz および 25GHz の 2 種類のレーダーによって先行車を認識し、速度に応じた車間距離を維持します。新型 C クラスでは、ステレオマルチパーパスカメラの搭載により、車線のカーブと先行車両を認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシストする機能が追加されました。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）：

77GHz および 25GHz のレーダーとステレオマルチパーパスカメラで前方を広範囲にモニターし、先行車に加え、前方を横切るクルマや合流してくるクルマ、さらには歩行者などとの衝突の危険性を検知した場合にドライバーにディスプレイ表示と音で警告し、急ブレーキを促します。ドライバーがブレーキを踏んでも踏み込みが弱い場合はブレーキ圧を増幅することで急ブレーキの効果を高めます。

PRE-SAFE®ブレーキ（歩行者検知機能付）：

BAS プラスの警告にドライバーが反応しない場合、軽いブレーキングでドライバーに警告し、衝突回避をサポートします。同時に衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保する PRE-SAFE®機能も作動します。それでもドライバーが反応しない場合、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。今回、先行車に加え歩行者も検知する機能が追加され、衝突予防安全性が大幅に向上しました。

リア CPA（被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム）：

リアバンパーのマルチモードレーダーが後方を監視し、車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、ハザードランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告するとともに、ドライバーに危険を知らせ、シートベルトテンショナーなどを起動させます。それでも後続車が十分に減速しない際には自動的にブレーキ圧を高めて自車をロックし、玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。

アクティブレーンキーピングアシスト：

ステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告するほか、ESP®の制御を利用して片輪に軽い補正ブレーキをかけることで車線内に戻そうとします。今回、大事故となりやすい対向車との衝突を防止する機能が新たに加わりました。

アダプティブハイビームアシスト・プラス：

ステレオマルチパーパスカメラが対向車や先行車を検知すると、他の車両にハイビームが当たらないよう自動的に照射範囲を制御しながら常に最大の視界を確保します。また、道路標識などにハイビームが反射すると、自動的に減光し眩惑を防止します。

新型 C クラスは、感性に訴える、クラスを超えた上質なデザインと高級感を手に入れました。機能に裏打ちされた美しいデザインと、高級素材が生み出す快適性は、ドライバーの快適性が安全性につながるというメルセデスの思想を反映しています。手触りの良い最高級素材を厳選し、クラフトマンシップ溢れる仕上げと、新しいデザイン手法を採用しています。

インフォテイメントシステムである COMAND システムは、高精細でわかりやすいグラフィックとアニメーション表示により、多機能をシンプルに、直感的に操作することが可能な最新世代のシステムを採用し、ドライバーの運転を最大限サポートします。

新たに設定されたエアバランスパッケージは、エアコンディショナーに、空気清浄機能と心地よい芳香を拡散するパフュームアトマイザー機能を装備しました。香りは 4 種類から選択でき、ON/OFF 切り替えや、香りの強さの調節が可能です。イオン放出によるウイルスなどの除去や、エアフィルター機能の強化も含まれています。

センターコンソール、ドア、足元の間接照明がラグジュアリーな雰囲気を醸成するアンビエントライトは、オレンジ、ブルー、ホワイトの 3 色から照明色が選べ、明るさの調整も可能です。夜間の室内空間を演出するとともに、対向車のライトによる眩惑を軽減する効果もあるため、安全性にも寄与します。

これらの装備により、ドライバーは五感で心地よさを感じ、快適なドライビングを実現します。これはドライバーが運転に集中する環境を提供することによる安全性の向上にも寄与します。

新型Cクラスのラインアップおよびメーカー希望小売価格は以下の通りです。

モデル	エンジン	ステアリング	メーカー希望小売価格 ( )内は消費税抜き車両本体価格
C 180	1.6L 直 4 直噴ターボ	右	**￥4,190,000** (￥3,879,630)
C 180 アバンギャルド	1.6L 直 4 直噴ターボ	右	**￥4,670,000** (￥4,324,074)
C 200 アバンギャルド	2.0L 直 4 直噴ターボ	右	**￥5,240,000** (￥4,851,852)
C 250 スポーツ	2.0L 直 4 直噴ターボ	右	**￥6,440,000** (￥5,962,963)

＊上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

新型Cクラスにも、新車購入から3年間走行距離無制限の一般保証・メンテナンスサービスと24時間ツーリングサポートを無償提供する総合保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。さらに、メルセデス・ケア終了後の有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4，5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス*」をご用意しています。

*新車登録日から59ヶ月後の応当日の前日または総走行距離75,000km到達時のいずれか早い時点で終了となります。

さらに、「メンテナンス プラス」と 2.90%ウェルカムプラン（5 年タイプ・残価設定型ローン）*を組み合わせた月々定額 17,000 円からのファイナンスプログラム「まるごとプラン」をご用意しています。手軽なローンに、初回車検を含むメンテナンス費用が組み込まれ、5 年間安心してメルセデス・ライフをお楽しみいただくことができます。

* メルセデス・ベンツ・ファイナンス（株）のご利用が必要です。価格及びファイナンスプランの金利は予告なく変更することがあります。

メルセデス・ベンツ 新型 C クラス

本件に関する報道機関のお問合わせ先	:商品企画・マーケティング部 製品広報課 03-6369-7225
本件に関するお客様のお問合わせ先	:0120-190-610（メルセデスコール）
メルセデス・ベンツ日本 ウェブサイト	:http://www.mercedes-benz.co.jp
Facebook 公式ページ	:https://www.facebook.com/mercedesbenz.jp
メディアサイト（登録制）	:http://www.media.mercedes-benz.jp